

平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 健彦
 (東証 JASDAQ コード: 6862)
 問 合 せ 先 取締役経営企画部門長 伊藤 信雄
 (TEL 045-591-5611)

**平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と
 実績値との差異に関するお知らせ**

平成 27 年 5 月 14 日 (平成 27 年 3 月期決算発表時) に公表しました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日) の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する四半 期純利益 | 1 株当たり 四半期純利 益 |
|---|--------------|------------|------------|--------------------------|----------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 1,079 | 百万円 △31 | 百万円 △36 | 百万円 △39 | 円 銭 △1.68 |
| 実 績 値 (B) | 1,034 | △3 | △11 | △26 | △1.15 |
| 増 減 額 (B-A) | △45 | 28 | 25 | 13 | |
| 増 減 率 (%) | △4.2 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平 成 27 年 3 月期第 2 四半期) | 1,265 | 5 | 0 | 8 | 0.38 |

2. 修正の理由

デバイス関連事業につきましては、デバイスプログラマ本体の売上高が前年同四半期を下回る結果となりましたが、一方で民生、車載向け変換アダプタの販売が順調に推移しました。また、スマートメーター関連及び車載関連の書込み案件の急増により、書込み分野の売上高が前年同四半期と比べて大きく上回る結果となりました。タッチパネル関連事業につきましては、ATM機器やアミューズメント機器向けの中型タッチパネル、及び大手ディスプレイメーカーや交通・公共機関向けの大型タッチパネルにつきまして、ほぼ計画通りの結果となったものの、当第 2 四半期連結累計期間は大型特注案件が無く、売上高は前年同四半期を下

回る結果となりました。システム開発関連事業につきましては、大手企業を中心に収益が改善する中で国内景気は緩やかな回復基調が続いていることもあり、安定的な受注を獲得することができております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,034百万円（当初予想との差異△45百万円）、営業損失3百万円（当初予想との差異28百万円）、経常損失11百万円（当初予想との差異25百万円）となりました。また特別損失に訴訟関連損失12百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は26百万円（当初予想との差異13百万円）となりました。

通期の連結業績見通しといたしましては、デバイス関連事業におきまして車載メーカー様向けオートハンドラ（自動プログラミングシステム）の納入時期が下期にずれ込んだこと、タッチパネル関連事業におきましては2020年の東京オリンピックに向けて大型タッチパネルやデジタルサイネージの試験導入などの引合いが増えてきていること等がありますが、具体的な取引の成否については確定的でない案件もありますので、当初予想を据え置くこととしております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上